



力のこもった各班の発表を上げます
6年生担任の藤田先生

お湯でガラス管の色水が上昇
海面上昇実験

SOE NEWS

No.143

2018.6



センスオブアース

市民による自然共生 パンゲア

「50年後の板橋を考えよう」

志村第六小学校6年4クラス 5月14・21日 各日2学級合同 2時限

50年後の板橋を IPCC (国連気候変動に関する政府間パネル—2007年ノーベル平和賞受賞) の100年後の予想の資料と、板橋区行政がまとめた各種の自然環境の資料から、未来を読み取り、今の生活をどうしたらよいか4クラス133人の子どもたちが考えました。

《50年後の板橋の夢と希望》

- ☺自然が豊かで環境に優しいまち (圧倒的)。
- ☺板橋の奥多摩化計画を行う。
- ☺自然豊かでエコな街。
- ☺緑が多くて二酸化炭素が少ないまち。
- ☺動物がたくさん来るまち。
- ☺地球温暖化を止めるまち。
- ☺生活しやすいまち。
- ☺自然エネルギーをうまく使えるような時間を作る。
- ☺ガスなど長持ちさせる。

《夢と希望の実現目指し、追求したい課題》

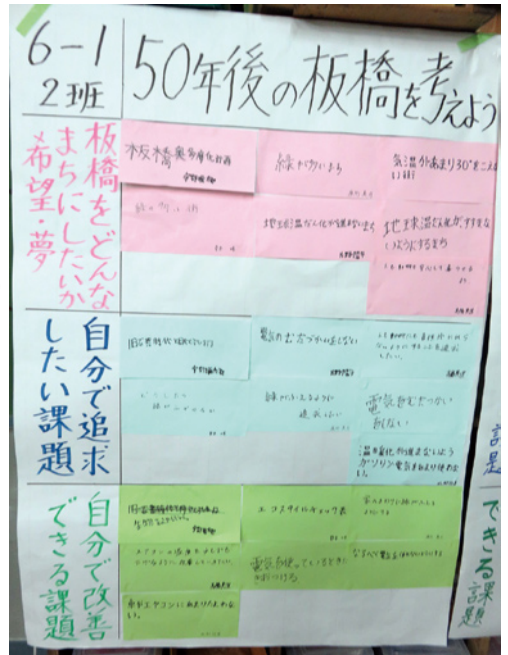
- ☺どうやって、緑をふやせるか。
- ☺なぜ川が汚くなってしまうのか。
- ☺二酸化炭素のこと。
- ☺できるだけ電気を使わないようにする。
- ☺動物がくるにはどのような工夫が必要か。
- ☺地球温暖化を止める物の性質を調べたい。
- ☺自然を守り自然を増やすこと。
- ☺植木鉢で何か育てる。

《自分で改善できる課題》

- ☺生活を旧石器時代と同じにする。
- ☺3Rを実行。
- ☺二酸化炭素を減らす。
- ☺ごみを分別する。
- ☺リサイクルをする。
- ☺自然を守る。
- ☺マイバックを持っていく。
- ☺家で花や緑の栽培。

《友だちや家族と共有したいこと》

- ☺二酸化炭素を減らすこと。
- ☺未来の日本の気温について。
- ☺未来は石油石炭がなくなってしまうこと。
- ☺石油や石炭を大切に使うこと。
- ☺百年後にはいろいろなことが起こること。
- ☺これからの未来をどう生きるのか。
- ☺東京にすめなくなるかもしれない。
- ☺資源をできる限り使わないように言う。
- ☺家から二酸化炭素が一番出ているものを知りたい。



アオスジアゲハのお母さんの病気を治す
たからものを探すんだ



キロリのおにごっこ説明を聞く1,2年生の姿を見守る参観者たち

いもむしのたからぶくろ～自然のたからさがし

志村第三小学校1・2年 4クラス 113名 5月19日・学校公開

初夏の陽気の陽ざしのもと、たくさんの父母保護者が参観される校庭で、1、2年生全員が縦割りの2クラスで、活発な校庭自然たんけんを行いました。

《1、2年生のドキドキ、おもしろ発見》

☺走って、風の音を聞いたり、木の実を取ったり、はっぱを見ついたり、樹を触ったり、袋に入れたりしたのが楽しかった。
☺1年生が木の実をたくさん持ってきてくれてうれしかった。☺たからものを入れた風船の空気を紙芝居にかけるのがおもしろかった。☺アオスジアゲハのお母さんが何で病気になったか考えた。☺芋虫はお母さんの病気を治して優しいなあ。☺クモ・ハチ・ヤゴ・サクランボ・アリの巣・バナナ。☺紙芝居で、なぜ森の木が倒されちゃったの？

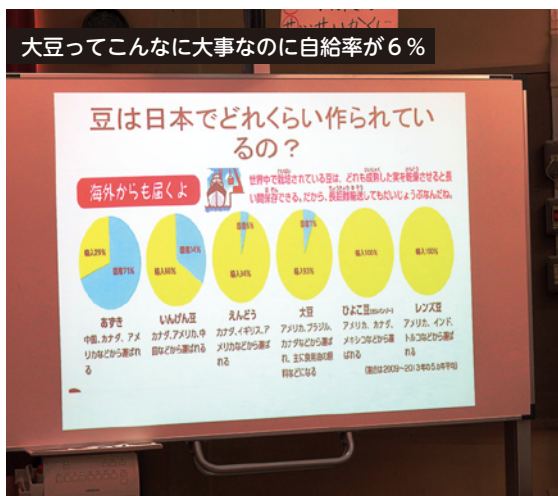


この木のみ・宝かな？

☺自然を大切にすることが分かった。☺探しながらいろんな自然にあえて楽しかった。☺不思議がたくさんあって楽しかった。☺虫がベロを出して死んでいたのがかわいそうだな。☺たからものは大きな葉っぱとぶにぶにしたブルーベリー赤と緑の木の実。☺1年生のこと、友達になったこと。☺1年生とふれあえて楽しかった。

《櫻澤成子・遠藤久美子・中野真由美・西川直美 各先生より》「自然さがしの前の動機付け（紙芝居）をすることによって、その後の宝さがしに、より意欲的に取り組めることが分かった。」「宝探しカードがあることで自然のたからものを探す視点がわかりやすくなり、子どもが主体的に活動できた。」「2年生がリーダーとして役目を果たせるか不安に思いながらのスタートだったが、どの子も自分なりに1年生に気を配り、一生懸命活動していた。」

大豆ってこんなに大事なのに自給率が6%



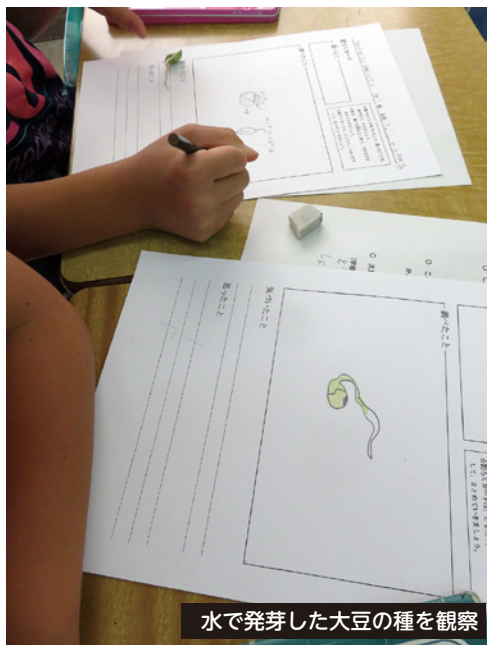
学年園に、一人1株、大豆の苗を植えたよ

大豆ってすごいぞ

高島第五小学校3年1組 26名
5月29日

～大豆を育ててみそ作りをしよう

高島第五小学校は、今年、3年生が昨年に続き、大豆を育てみそを作ろうの授業に取り組みました。まずは、SOE創作童話「花ちゃんと豆っこ」を読み聞かせてから、大豆の成長と大豆の変身、栄養の豊かさを学んで、種の観察へ。その後、種まきをしてから、大豆の苗を校庭に植えました。これからの成長と秋の収穫までの取り組みが楽しみです(苗の提供者◎環境活動家 春日新太郎氏)



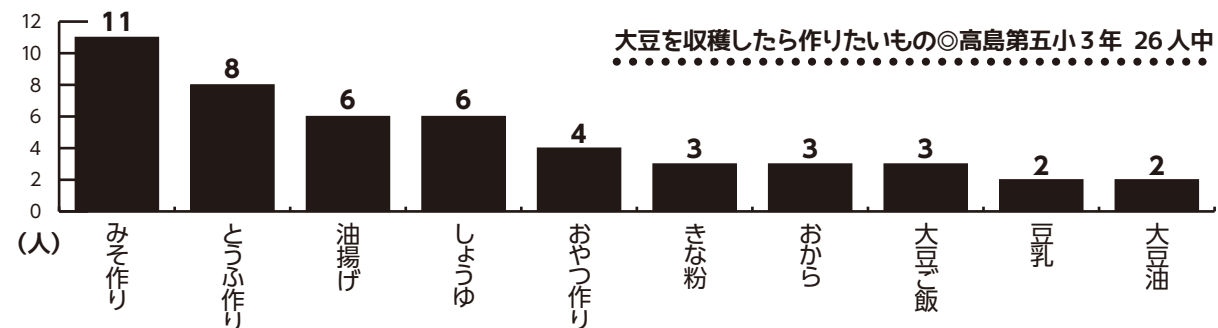
水で発芽した大豆の種を観察

《初めて知ったこと驚いたこと》

- ◎苗の葉の数で年とかがわかる。
- ◎まめっこがいるなんて知らなかった。
- ◎大豆は何であんなにいろいろな食べ物になるのか。
- ◎苗はもうちょっと小さいかと思った。
- ◎苗の下の葉がふとい。
- ◎2千年前からあるってびっくりした。
- ◎枝豆が大豆になるのを初めて知った。
- ◎根っこところに丸いものがつくことを知らなかった。(根粒菌のこと)
- ◎こんなに大豆は芽があるとは。(水の中での発芽を観察して)

《もっと調べたいこと》

- ◎大豆はどこまで育つか。
- ◎いろんな豆のことをもっと知りたい。
- ◎どんな形に育つか。
- ◎大豆のことをもっと調べたい。
- ◎みそを調べる。
- ◎虫を調べたい。
- ◎ていねいに世話をしたい。
- ◎大豆は何か月ぐらいうると、実ができるのか。大豆はいつ食べるとおいしいのか。
- ◎葉が何枚になるのか。



舎人公園へ出張！5月27日◎都立舎人公園 大勢の親子連れに自然の中の色さがしを体験してもらいました！



緑の祭典「全国育樹祭」。今年は、11月に東京都で開催されます。そのプレイイベントとして開催された「都民育樹行事」のひとつ、「親子で育む樹とみどりのフェスティバル@とねり」に参加してきました。舎人公園のお花見広場の周りには、木育ブースやツリークライミング、苗木の配布など、さまざまな体験スペース。センスオブアースは、公園の色に着目したネイチャーゲーム「森の色あわせ」を体験してもらいました。

多くの親子連れが色いっぱいカードを手に、公園の中での色探しへ。空に広がる青、葉っぱや草の緑、シロツメクサの白、木の幹の茶色…そして、「とねりん」のピンク色！？小さい子どもにとっては、目に入る色すべてが自然の色。みんな一生懸命みつけて教えてくれました。そんな子どもたちの発見を聴いて形に残すお手伝いをしてくれたのは、東京家政大学・宮地ゼミのみなさん。発見を書いてもらった色紙をテントの幕に貼っていくと、色いっぱいの公園の様子が一枚の絵のようになりました。強い日差しの暑い中でしたが、その分、彩り豊かな自然の表情を満喫し、樹木や草花と触れあえる楽しい一日になりました。

2018年実施◎募集中

第15回沖縄エコツアー

予定日：8月27日～30日（3泊4日・全食事つき）

滞在地：沖縄本島 本部町

内容：備瀬地区自然観察、カヌー・シュノーケリング、
現地小学校での環境学習の授業 実施

費用：7万円前後

申し込み締め切り：6月25日

お問い合わせ：03-3960-6052（寺田まで）

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区区野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp